

一般質問

第4回定例会の一般質問は12月17日に行われ、3名の議員が村政全般にわたり質問しました。

質問項目は左記のとおりです。次ページよりやり取りの一部を抜粋して紹介します。詳細な内容については会議録の公表をお待ちください。

しもむら ひろし
下村 宏 議員 所属委員会：総務経済委員会
○令和8年度の当初予算について

まつむら ひろし
松村 広志 議員 所属委員会：厚生文教委員会
○関係人口増加へ本村の取り組み
○災害時の協力井戸の推進について
○多言語翻訳・文字システム機について

はやし しょうこ
林 昌子 議員 所属委員会：総務経済委員会
○RSウイルスワクチン接種について
○新1年生入学祝い金について
○小中学校駐車場について

令和8年から 小中学校入学時祝い金支援



しもむら ひろし
下村 宏 議員

質問 令和8年度の当初予算要求段階において、各部門の新規事業と継続の事業でも予算を増額して伸ばしたい事業等、各部長に問う。

答弁 (総務部長)

今年好評であったUMAフェスタは、開催時期をジョッキータ参加できる9月祝日を予定している。予算は450万円程度を想定している。ふるさと納税については、本年度約4億円を見込んでおり、8年度は4.5億円を目標としていく。

答弁 (経済建設部長)

農業政策では、米価の情勢が先行き不透明であることから、産地づくり交付金を本年並みに確保したい。観光推進では、今年大きな成果を挙げたウマ娘とのコラボ

ボなどの事業を来年度も実施したい。また、村道105号線については、9年度までに詳細設計等、国庫補助金を活用し10年度以降道路整備を行っていく。

答弁 (保健福祉部長)

交通弱者対策については、Aーデマンド型乗り合いタクシーと次年度に計画している、定額タクシー制度の実証実験を行い、アンケートの結果や皆さんの意見等参考に効果的な移動手段の導入を検討していく。

答弁 (教育部長)

下村議員から、本年第2回定例会で質問された、小中学校給食費無償化と、小中学校入学時の祝い金について、検討の結果給食費無償化と、入学祝い金の支援をしていきたい。

答弁 (村長)

給食費については、国が全額負担する方向で進んでいるので、小学生のランドセル購入、中学生は制服や自転車等を考慮して、小学校入学時3万円・中学校入学時5万円を支援していく。



「関係人口」増加の取り組みについて



まつむら ひろし
松村 広志
議員

【SDGsの推進へ】

質問 人口減少や高齢化が加速する中、地方創生の新たな原動力として、「関係人口」が注目されている。更に「関係人口」を増やすことは、災害時等に地域の復興・復旧の大きな力に繋がる。既に令和元年の定例会で提案し意向を尋ねたが、その後の取り組みと実績を伺う。

答弁（総務部長）

「関係人口」の増加に向け「村を知ってもらう」ため、ターゲットを明確化し情報発信に努めてきた。「映像研には手を出すな!」の浅草みどり氏等への観光大使の就任や、「ウマ娘プリティダービー」とのコラボイベント、「美浦村UM

Aフエスタ」等を開催。今後も「関係人口」の増加と地域の活性化に繋げていきたい。

災害時の協力井戸の推進について

質問 地域防災計画を進めるため「災害時協力井戸」の拡充や地図化、目印となる「のぼり旗」の設置を問う。

答弁（経済建設部長）

協力井戸の拡充を進め、地図化は協力者の意向に沿い災害時に公表、目印は風雨にも劣化しづらく固定も可能な看板プレート形式にしたい。

多言語翻訳・文字システム機について

質問 外国人や聞こえに不安のある方への円滑な対応に必要ではないか。

答弁（総務部長）

費用対効果やユニバーサルデザインの観点からも検討していく。

RSウイルスワクチン接種について



はやし しょうこ
林 昌子
議員

質問

厚生労働省の専門部会で来年度より妊婦向け定期接種の方針を了承した。

①周知と広報の取り組みは。

②入院は小児が多いが死亡例の85%は高齢者である。高齢者のワクチン接種助成への取り組みは。

答弁（保健福祉部長）

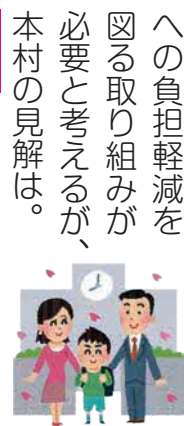
①個別通知や母子手帳交付時での説明と併せて「広報みほ」「村ホームページ」で広く周知する。

②国の定期接種化に向けた検討や他市町村の導入状況、医療状況等を注視していく。

新1年生入学

祝い金について

質問 物価高騰が続く中で子育て家庭を応援する施策として、入学時のお祝いで家計への負担軽減を図る取り組みが必要と考えるが、本村の見解は。



答弁（教育部長）

小中学校入学祝い金の支援を行う。

質問 自治体は成人する18歳までの子ども達の健やかな成長を支える責任を負っている。祝い金を高校生までの検討は。

答弁（村長）

高校入学は進路がそれぞれ違うので、一律に出す出さないは調査していく。

小中学校駐車場について

答弁（教育部長）

台数を確保できない場合は、周辺の用地利用を考える。